

イミダプリル塩酸塩錠10mg「JG」の生物学的同等性試験

試験実施期間：平成18年12月5日～平成18年12月14日

1.試験目的

イミダプリル塩酸塩錠10mg「JG」は、イミダプリル塩酸塩を主薬とするプロドラッグ型のアンジオテンシン変換酵素(ACE)阻害剤である。今回、本製剤の生物学的同等性試験を実施した。すなわち、田辺製薬(株)製(現 田辺三菱製薬(株))のタナトリル錠10を標準製剤として健康成人男子に絶食単回経口投与後、血漿中未変化体濃度を測定し、統計学的手法により解析した結果を報告する。

2.試験方法

(1)被験者

健康成人男子を被験者とした。

(2)投与・採血方法

クロスオーバー法により、イミダプリル塩酸塩錠10mg「JG」又はタナトリル錠10各1錠(イミダプリル塩酸塩として10mg)を絶食下单回経口投与した。所定の時間に採血を実施し、血漿を分取後、測定検体とした。

(3)測定方法

血漿中の未変化体濃度を測定した。

3.血漿中濃度測定結果

イミダプリル塩酸塩錠10mg「JG」又はタナトリル錠10各1錠単回経口投与した後の平均血漿中濃度推移並びに薬物動態パラメータを図1及び表1に示す。

図1 平均血漿中濃度推移

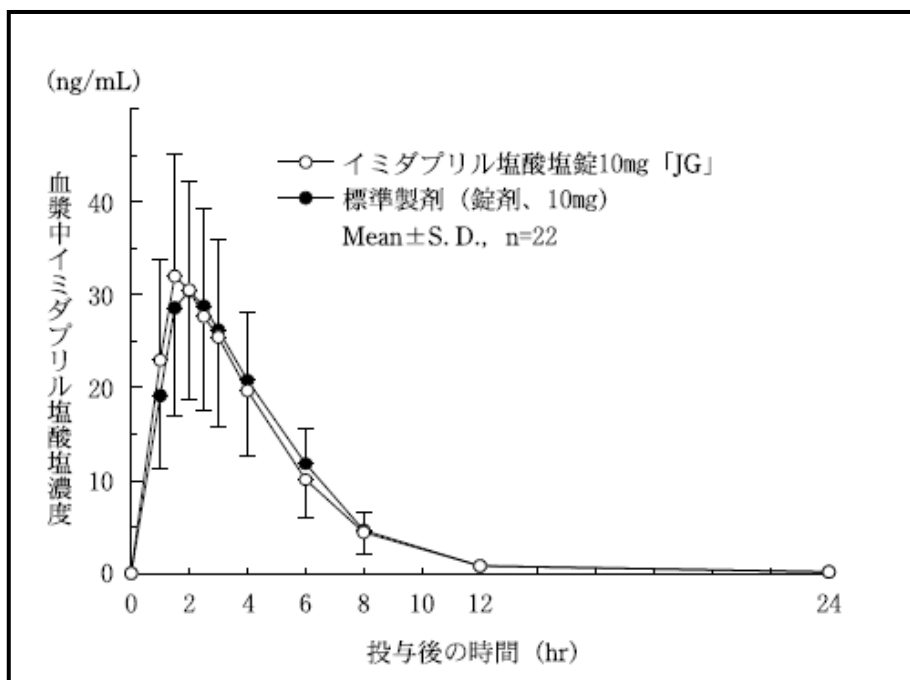


表1 薬物動態パラメータ (Mean±S.D., n=22)

	判定パラメータ		参考パラメータ	
	AUC ₀₋₂₄ (ng·hr/mL)	Cmax (ng/mL)	Tmax (hr)	T _{1/2} (hr)
イミダプリル塩酸 塩錠10mg「JG」	151.67±54.06	32.95±12.79	1.8±0.4	2.9±0.8
標準製剤 (錠剤、10mg)	153.83±39.85	32.50±11.43	2.0±0.6	2.8±0.5

Tmax: 最高血漿中濃度到達時間、Cmax: 最高血漿中濃度、T_{1/2}: 消失半減期、AUC₀₋₂₄: 0~24時間の血漿中濃度-時間曲線下面積
 血漿中濃度並びにAUC、Cmax等のパラメータは、被験者の選択、血液の採取回数・時間等の試験条件によつて異なる可能性がある。

4.結論

得られた薬物動態パラメータ(AUC、Cmax)について90%信頼区間法にて統計解析を行った結果、log(0.80)～log(1.25)の範囲内であり、両剤の生物学的同等性が確認された。

平成20年5月